



# 草津市版地域再生計画(案)



## 概要版

2018年●月  
草津市

# 1. 計画策定の目的と期間

本編 p.1

本計画は、地域再生計画制度を活用し、人口減少、少子高齢化、生活利便施設や公共交通の不足、産業における担い手不足等の深刻化が先行してきている市街化調整区域に重点を置き、上記の計画との整合を図りながら、主に郊外部における地域の生活基盤やコミュニティを支える生活拠点の形成、効率的な公共交通ネットワークの形成、地域資源を活用した産業振興を図ることで、市域全体がうるおい、人々が活き活きと住み続けられる草津市を目指すものです。

計画期間 2018年度 から 2039年度 まで

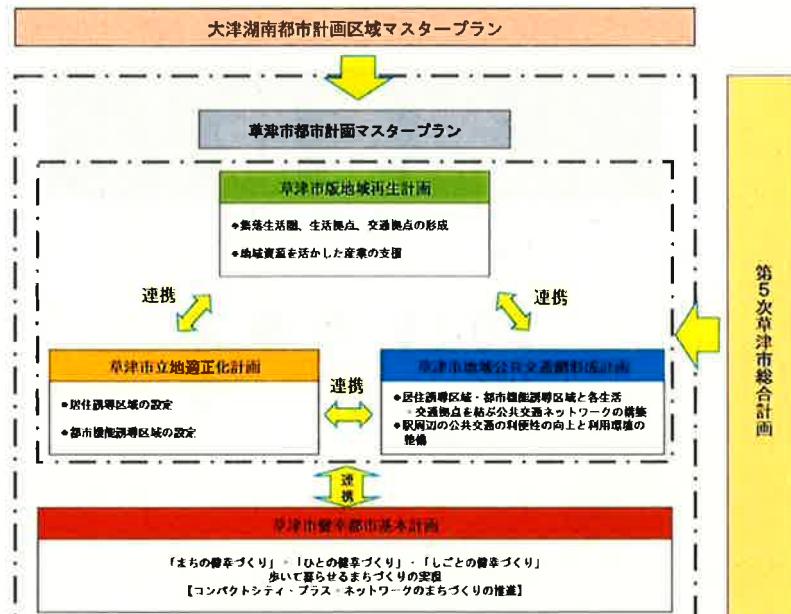
## 2. 形成計画・草津市健幸都市基本計画との連携

本編 p.2

本市では、本計画のほか「草津市立地適正化計画」、「草津市地域公共交通網形成計画」を策定し、人口減少や高齢化が進行する将来においても持続可能なまちであり続けるためのまちづくりを推進しています。

生活サービスや行政サービスが一定程度集積している市街化区域を中心に、都市機能をコンパクトかつ効率的に集約し充実させることを目的とする「草津市立地適正化計画」に対し、本計画は主に市街化調整区域を対象として生活・交通拠点の形成等を検討する計画であり、「草津市地域公共交通網形成計画」は、各拠点（市街化調整区域も含む）を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す計画となっています。さらに「草津市健幸都市基本計画」では、市の総合施策としてまちづくりの中核に「健幸」を位置づけ、都市計画や福祉、教育、産業振興など、分野横断的に健幸の取組を推進する計画です。

本市は、本計画と「草津市立地適正化計画」、「草津市地域公共交通網形成計画」の連携に加えて、「草津市健幸都市基本計画」とも連携を図りながら計画を推進していくことで、市街化区域の中心拠点と市街化調整区域の拠点を公共交通で結ぶ「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを実現するとともに、地域住民が支え合い、多様な主体が協働し、安心して暮らすことのできる「地域共生社会」を目指します。

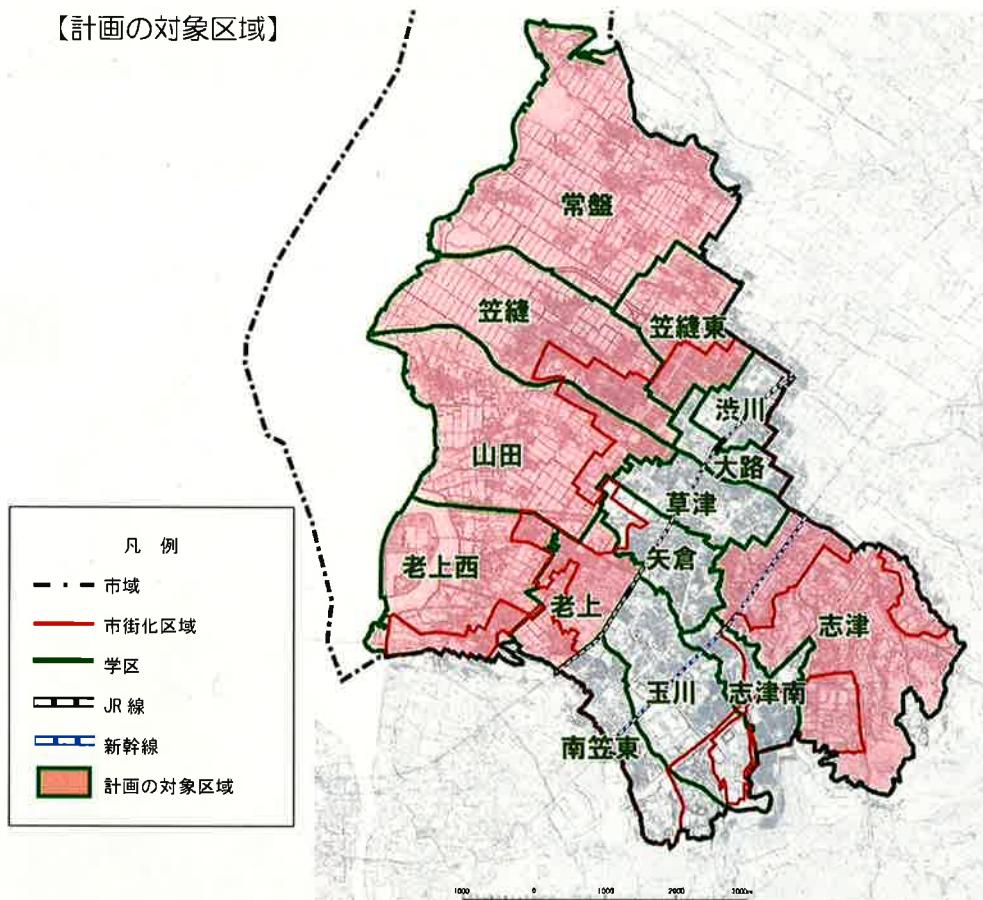


### 3. 計画の対象区域

本編 p.3~4

本計画の対象区域は、概ね地域の過半が市街化調整区域であり、既存の地域が存する志津、老上、老上西、山田、笠縫、笠縫東、常盤の7学区を対象とします。

【計画の対象区域】



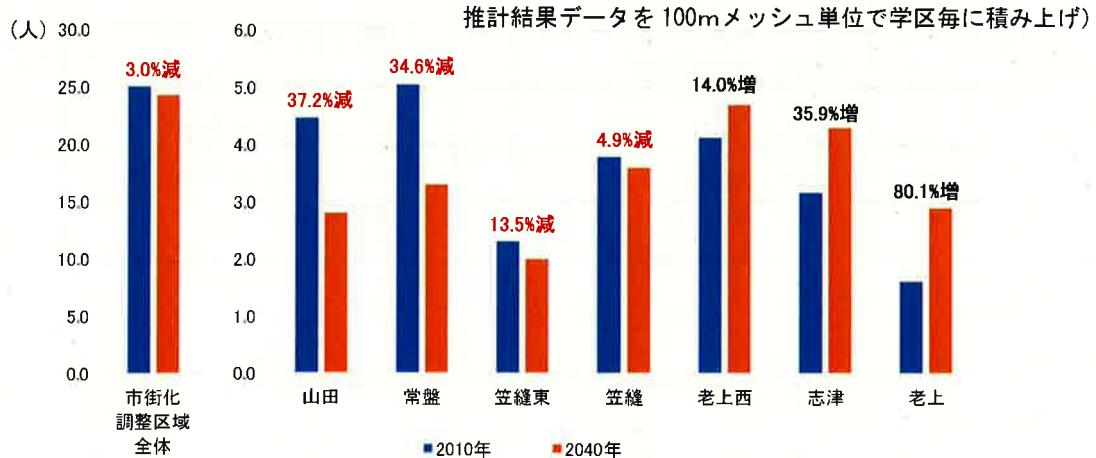
### 4. 市街化調整区域の現状分析

本編 p.5~23

#### <人口>

- 2040年時点の将来予測によると、市街化調整区域全体では2010年（平成22年）から3.0%の人口減少が予測されており、山田、常盤、笠縫東、笠縫学区では市街化調整区域全体の傾向よりも人口が減少する見通しです。なお、特に山田、常盤学区の人口減少率は3割以上となっています。

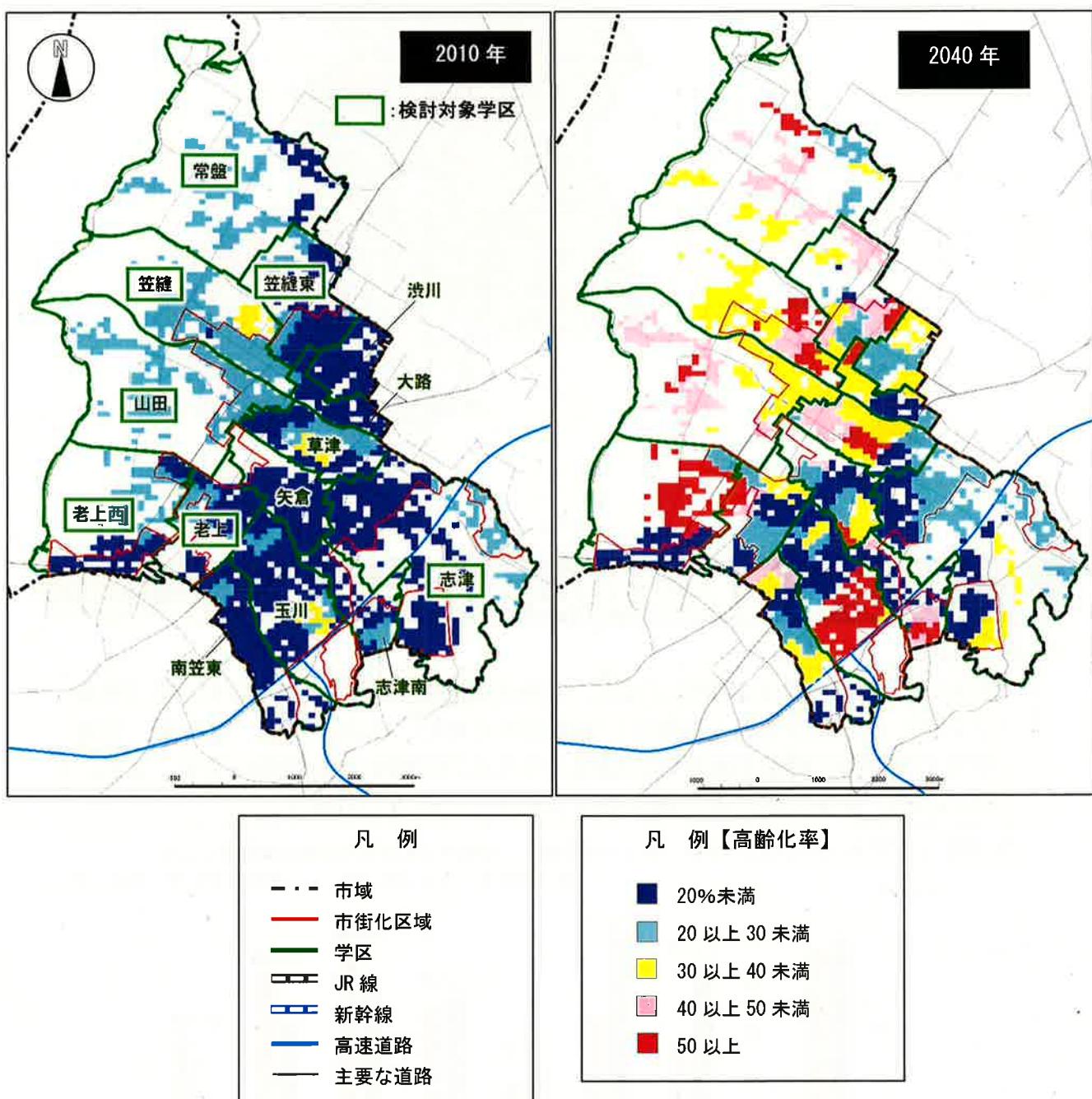
【対象学区の将来人口予測】(資料：2010年国勢調査、2040年立地適正化計画基礎調査による  
推計結果データを100mメッシュ単位で学区毎に積み上げ)



## <高齢化率>

- 市街化調整区域内の高齢化率(65歳以上人口の割合)は市街化区域より相対的に高く、2010年(平成22年)時点では市街化調整区域全体で21.5%となっています。
- 2040年時点の将来予測によると、市街化調整区域全体では36.0%まで上昇すると予測されており、特に老上西学区では50%以上、笠縫、山田学区では40%以上となっています。

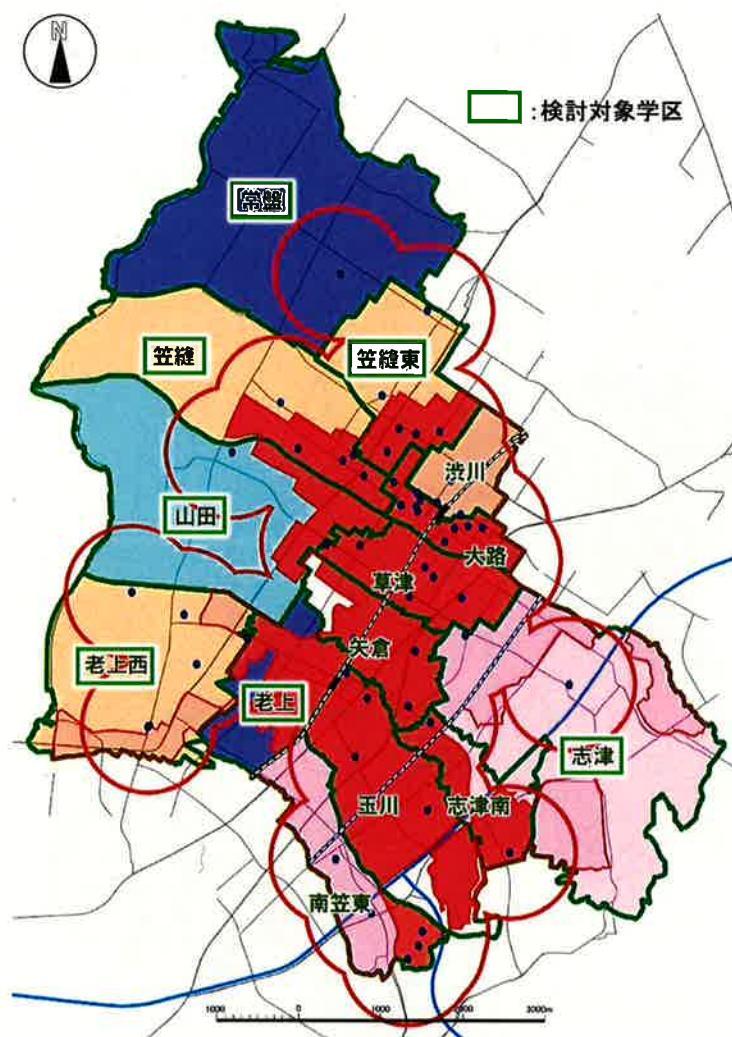
【高齢化率の状況】(資料: 2010年国勢調査、2040年立地適正化計画基礎調査による推計結果データを100mメッシュ単位で学区毎に積み上げ)



## <生活利便施設>①医療施設

- ・2010年(平成22年)時点における医療施設の徒歩圏人口カバー率は、市街化調整区域全体では68.9%となっています。
- ・学区別に見ると、対象学区の市街化調整区域では、常盤学区が34.1%と最も低く、次いで老上、山田学区が50%前後と相対的に低い状況です。

【学区単位の徒歩圏人口カバー率の状況(2010年)】(資料:2010年国勢調査に基づくメッシュデータ)



### 凡 例

- 市街化区域 (Red line)
- 学区 (Green line)
- JR線 (Dashed line)
- 新幹線 (Blue line)
- 高速道路 (Blue line)
- 主要な道路 (Black line)
- 医療施設 (Black dot)
- 徒歩圏 (Red circle)

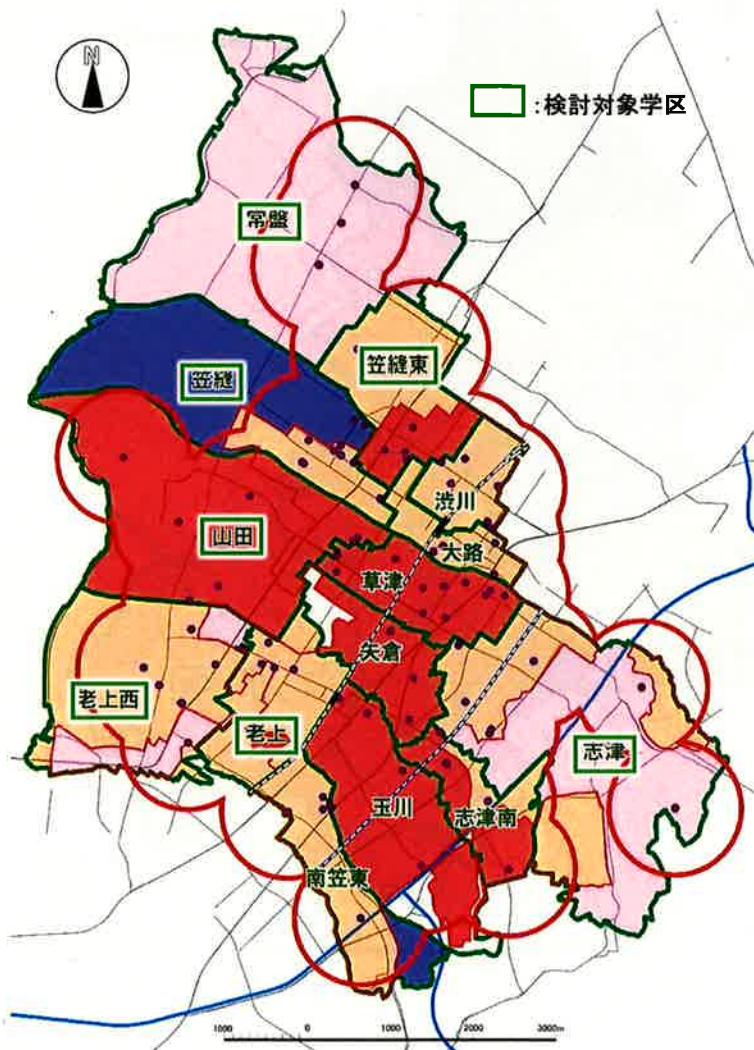
### 【徒歩圏人口カバー率】

- 0%
- 50%未満
- 50%以上 70%未満
- 70%以上 90%未満
- 90%以上 100%未満
- 100%

## <生活利便施設>②高齢者福祉施設

- ・2010年(平成22年)時点における高齢者福祉施設の徒歩圏人口カバー率は、市街化調整区域全体では82.2%で、他施設に比べると相対的に高くなっています。
- ・学区別に見ると、対象学区の市街化調整区域では、笠縫学区が43.4%と最も低く、次いで常盤学区が71.2%、志津学区が82.2%と相対的に低い状況です。なお、これら以外の学区は100%もしくは100%に近いカバー率となっています。

【学区単位の徒歩圏人口カバー率の状況(2010年)】(資料:2010年国勢調査に基づくメッシュデータ)



### 凡 例

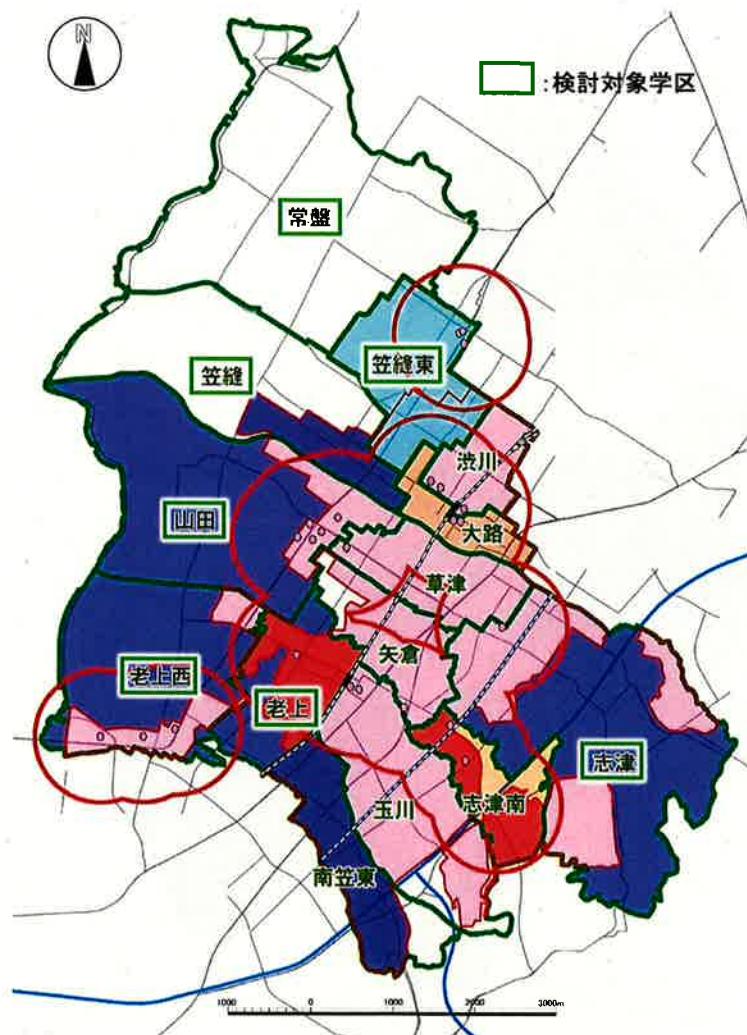
【徒歩圏人口カバー率】	
■	0%
■	50%未満
■	50%以上 70%未満
■	70%以上 90%未満
■	90%以上 100%未満
■	100%

—	市街化区域
—	学区
—	JR線
—	新幹線
—	高速道路
—	主要な道路
●	高齢者福祉施設
○	徒歩圏

## <生活利便施設>③商業施設

- ・2010年(平成22年)時点における商業施設の徒歩圏人口カバー率は、市街化調整区域全体では23.0%で、他施設に比べると相対的に低い状況となっています。
- ・学区別に見ると、対象学区の市街化調整区域では、笠縫、常盤学区が0%、志津、山田学区が20%未満と相対的に低い状況です。

【学区単位の徒歩圏人口カバー率の状況(2010年)】(資料:2010年国勢調査に基づくメッシュデータ)



### 凡 例

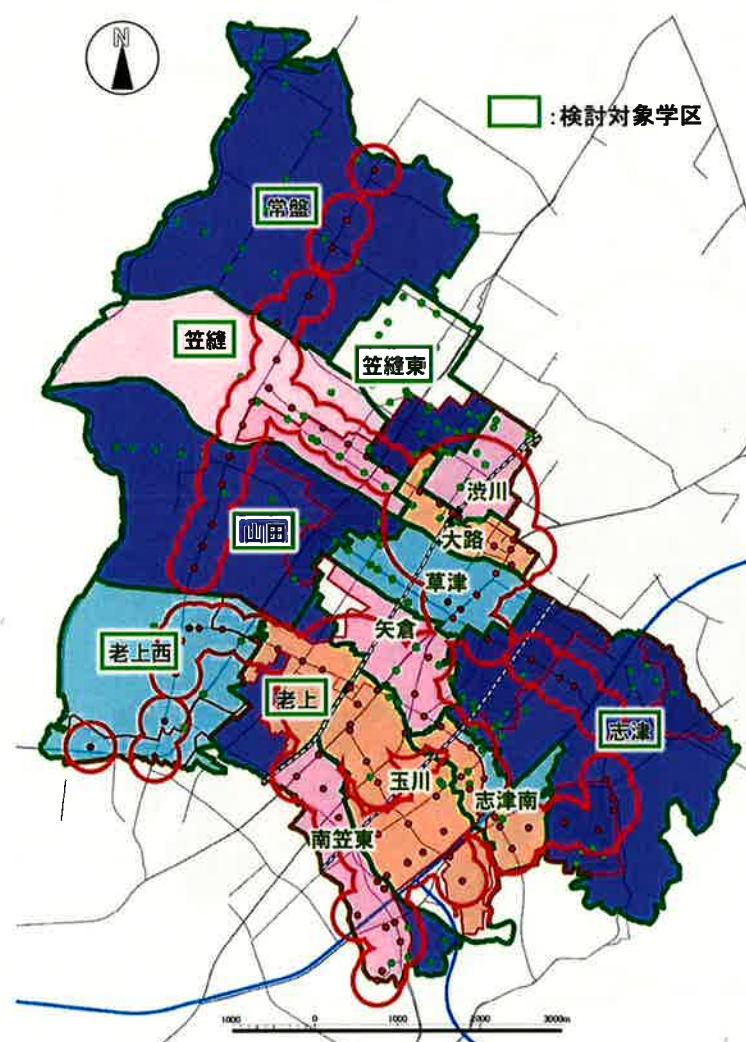
- 市街化区域
- 学区
- JR線
- 新幹線
- 高速道路
- 主要な道路
- 商業施設
- 徒歩圏

- 【徒歩圏人口カバー率】
- 0%
- 50%未満
- 50%以上 70%未満
- 70%以上 90%未満
- 90%以上 100%未満
- 100%

## <公共交通>

- ・2010年(平成22年)時点における基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率は、市街化調整区域全体では42.4%となっています。
- ・学区別に見ると、対象学区の市街化調整区域では、笠縫東学区が0%と最も低く、次いで老上、常盤、山田学区が相対的に低い状況です。
- ・基幹的公共交通路線のカバー率が相対的に低い地域においては、まめバス等の補完公共交通により交通網が整備されています。

【学区単位の徒歩圏人口カバー率の状況(2010年)】(資料:2010年国勢調査に基づくメッシュデータ)



### 凡例

- 市街化区域
- 学区
- JR線
- 新幹線
- 高速道路
- 主要な道路

- バス停
  - (片道30本未満/日の路線バス・まめバス)
- 基幹的公共交通路線のバス停
  - (片道30本以上/日)
- 基幹的公共交通路線の徒歩圏

- 【徒歩圏人口カバー率】
  - 0%
  - 50%未満
  - 50%以上70%未満
  - 70%以上90%未満
  - 90%以上100%未満
  - 100%

## <地域資源>

- ・地域資源とは、自然資源のほか特定の地域に存在する特徴的なものを資源として活用可能と捉え、人的・人文的な資源をも含む広義の総称です。昨今のご当地ブーム、まちおこし、地域ブランドに代表される地域活性化の試みにおいて、特徴・素材となるものを地域資源として定義し、「地域活性化の切り札」として活用する考え方が広まっています。
- ・本計画では、地域の課題の解決および活性化につなげるために必要な地域資源について、関連計画や資源活用の取り組み状況、内容等について文献調査を行い、また事業者ヒアリングや市民アンケート（2017年度（平成29年度）草津市のまちづくりについての市民意識調査）の結果を踏まえ、「①要素が多く存在すること」「②関連施策と有機的な連携を図ることにより地域の活性化に寄与できる可能性があること」を条件として地域資源を特定すると、「農水産業」「観光」の区分で大きく仕分けられる結果となりました。

【地域資源の分布図】（資料：草津観光ガイドマップ、草津ものづくり職人8人の挑戦／草津市観光物産協会、

草津が生んだ奇跡あおばな／草津あおばな会、自然環境保全地区保護樹木／草津市環境政策課  
資料をベースに事業者ヒアリング、都市計画マスタートップラン、まちづくり計画で挙げられた資源等を一部追加）



## 5. 地域が抱える課題の整理

本編 p.24~31

学区	人口等の状況			徒歩圏人口カバー率(2010年)				基幹的公共交通	
	人口増減		高齢化率	生活利便施設					
	2010年 →2040年	2010年	2040年	医療	高齢者福祉	商業			
市全体	10.8%	16.6%	27.7%	91.6%	95.4%	62.6%	67.2%		
市街化調整区域	△3.0%	21.5%	36.0%	68.9%	82.2%	23.0%	42.4%		
常盤	△ △34.6%	△ 22.4%	△ 37.2%	△ 34.1%	△ 71.2%	✗ 0.0%	△ 29.5%		
笠縫東	△ △13.5%	○ 18.0%	○ 28.0%	○ 94.1%	○ 95.5%	○ 60.4%	✗ 0.0%		
笠縫	△ △4.9%	△ 23.4%	△ 41.7%	○ 92.8%	△ 43.4%	✗ 0.0%	○ 70.2%		
山田	△ △37.2%	△ 24.7%	△ 41.9%	○ 51.9%	○ 100.0%	△ 19.2%	△ 34.7%		
老上西	○ 14.0%	△ 24.0%	△ 52.7%	○ 98.7%	○ 98.9%	○ 46.7%	○ 68.0%		
老上	○ 80.1%	○ 19.6%	○ 23.7%	△ 45.3%	○ 95.8%	○ 45.3%	△ 24.4%		
志津	○ 35.9%	○ 15.8%	○ 23.2%	○ 70.2%	○ 82.2%	△ 15.5%	○ 45.1%		

【○、△、✗の定義】「○」徒歩圏人口カバー率の平均値を上回る項目、「△」徒歩圏人口カバー率の平均値を下回る項目  
 「✗」徒歩圏人口カバー率が「0%」の項目

※この計画では、小学校単位で集計していますが、高齢者福祉施設の取組みについては、「草津あんしんいきいきプラン」において、中学校区（6学区）を日常生活圏域と定め、進めています。

## 6. 計画の基本理念

本編 p.32

草津市の上位・関連計画で示されている将来都市像やまちづくりの方針等を踏まえ、草津市版地域再生計画の対象である市街化調整区域における計画の基本理念を次のように設定します。

### ◆計画の基本理念

#### これからも、ずっと住みたい、住んでみたい健幸なまち

今後の超高齢化・人口減少社会を見据え、地域で生活するすべての人が、  
 便利に、快適に、健幸に暮らしが続けることができる持続可能なまちづくりを目指します。

### ◆目指す将来像

草津市は、比較的コンパクトな都市構造となっていますが、市街化区域との位置的条件や人口構成、既存の生活サービス機能などは対象区域によって様々です。

このような各地域の特性を踏まえ、“まちなか”から比較的離れ、生活サービス機能等も不足する区域では、地域コミュニティの生活利便性を維持する拠点づくり等を推進するほか、“まちなか”に比較的近い区域では、公共交通の充実等による“まちなか”との連携を強化する中で、歩いて暮らせる快適な健康志向の生活環境を確保していくものとします。また、草津市には琵琶湖をはじめ様々な地域資源が存在することから、健幸都市を目指す本市では、健幸に関連づけての新たな魅力や付加価値を創造・発信することで、地域の活力を高めていく（多くの来訪者が訪れる、ものが売れる、事業が活性化する）ものとします。

このようなまちづくりを推進することで、郊外部におけるコミュニティおよび生活環境の維持・活性化を図り、地域に住む人々が共に生き、共に支え合いながら、いきがいを持って安心して暮らせる『これからも、ずっと住みたい、住んでみたい健幸なまち』を創造していきます。

## 7. 計画の基本方針



本編 p.33~35

各対象学区の課題や計画の基本理念（案）、目指すべきまちづくり像（案）を踏まえ、郊外部の活性化に係る施策の柱を以下に掲げます。

### 施策の柱1 生活拠点の形成

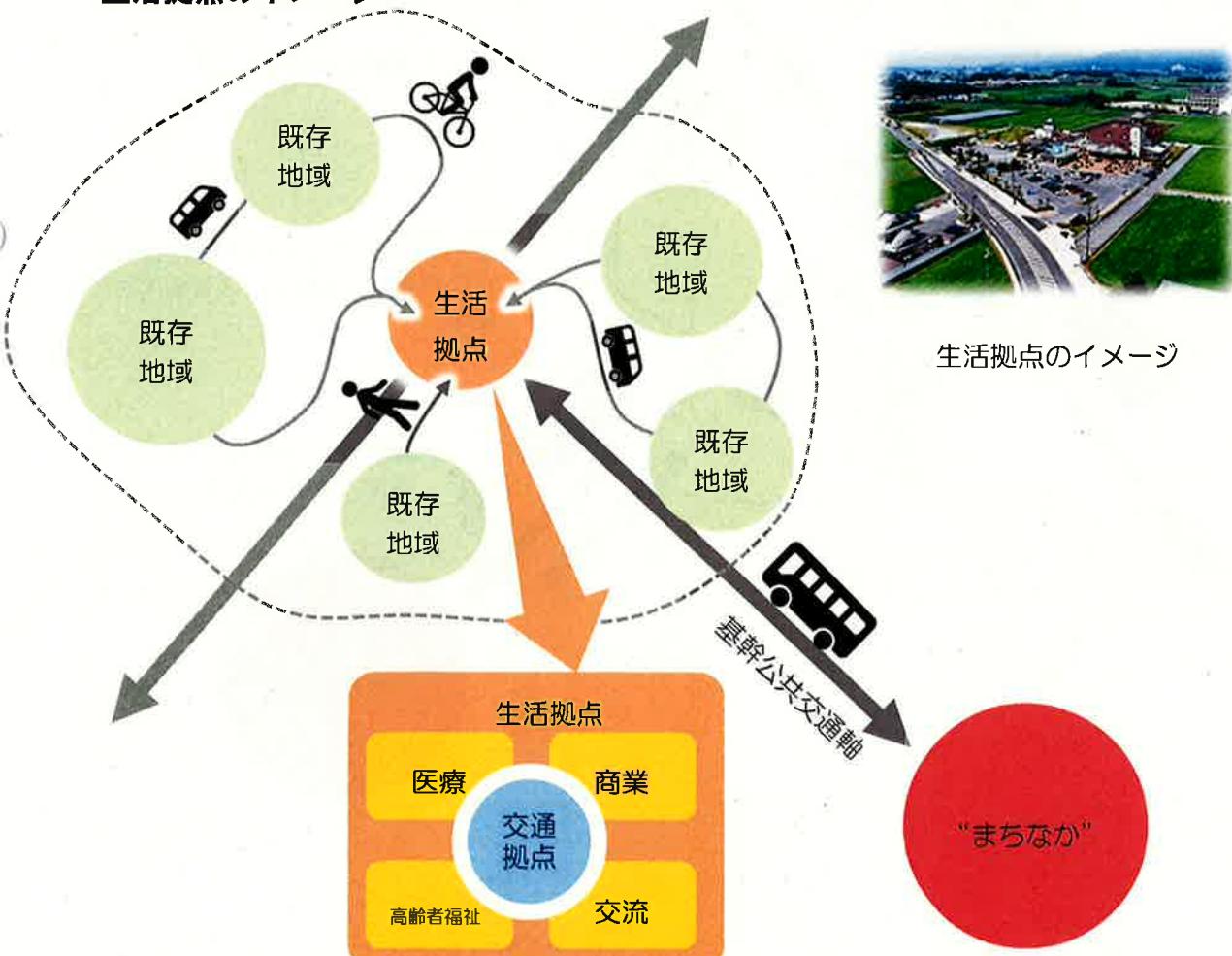
### 施策の柱2 交通環境の充実

### 施策の柱3 地域資源を活かした産業の支援

#### 施策の柱1 生活拠点の形成

- ・区域内の地域が分散し、医療、高齢者福祉、商業等の徒歩圏人口カバー率が低いなど生活サービス機能が不足する区域では、地域の生活利便性向上や地域コミュニティの維持を支える生活拠点の形成を目指します。
- ・生活拠点は、“まちなか”等と繋がる基幹的公共交通の沿線に、区域に不足する生活サービス機能等を集約させることで、高齢者をはじめとするすべての人があれ生活しやすい環境を創出するものです。区域内地域から生活拠点への多様なアクセスを考慮し、拠点内にはバス、自転車等に対応した交通拠点を設置します。

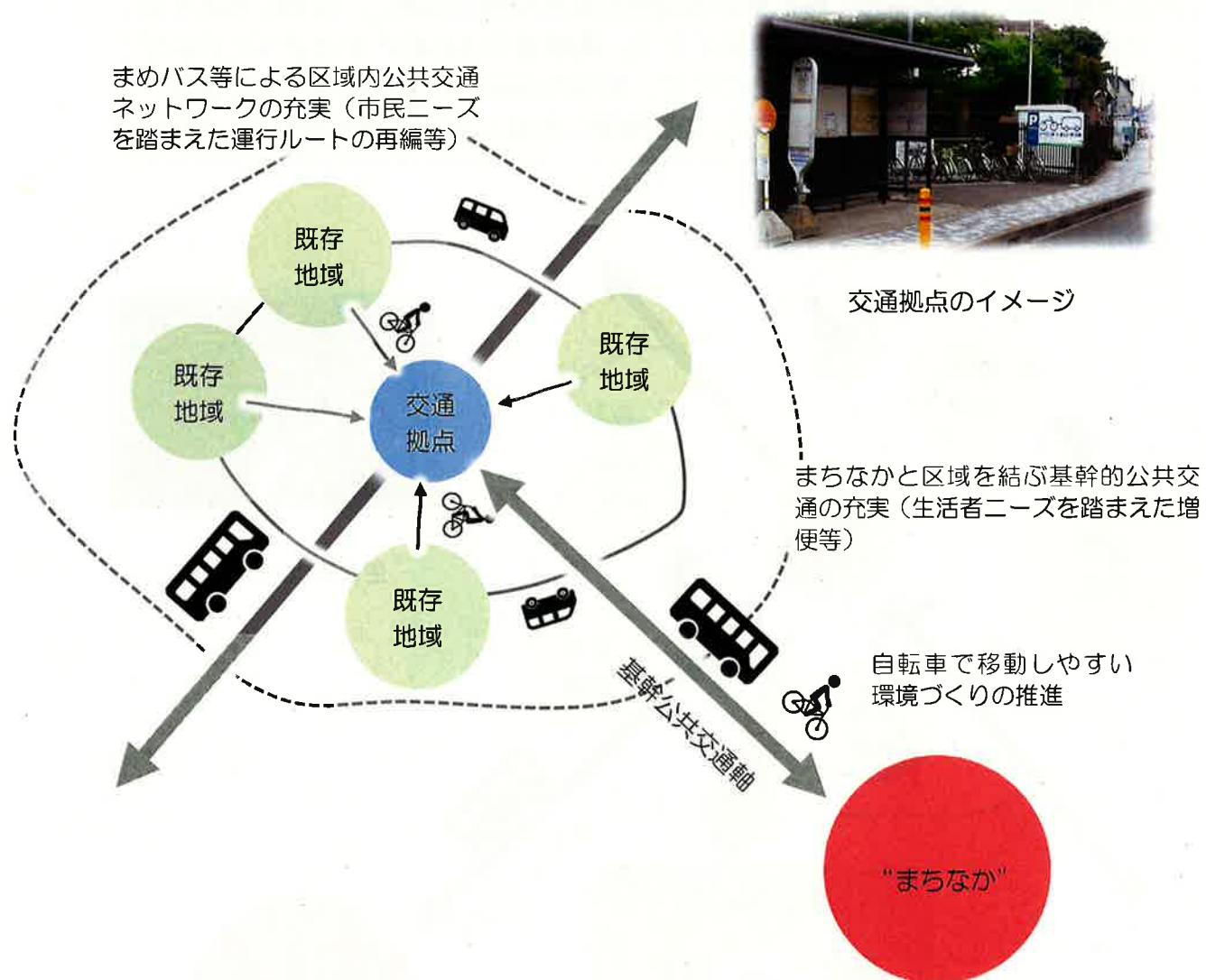
生活拠点のイメージ



## 施策の柱2 交通環境の充実

- ・“まちなか”にアクセスするほか、区域間の連携を図る基幹的公共交通軸の徒步圏人口カバー率が低い区域では、基幹的公共交通や“まめバス”等の補完公共交通の充実（生活者のニーズに応じた路線の見直し等）を図り、区域内や区域と“まちなか”等を結ぶ利便性の高い公共交通の実現を目指します。
- ・また、エリアが広範囲にわたる区域では、自転車と基幹的公共交通の乗り継ぎ利便性を高める交通拠点（サイクル&バスライド）を設置します。
- ・このほか、比較的コンパクトな都市構造を有する草津市の特性や草津市の政策である健幸都市づくりの推進、低炭素社会の実現に向けた環境保全の観点等を踏まえ自転車等で移動しやすい環境づくりを推進します。

### 交通環境の充実のイメージ



### 施策の柱3 地域資源を活かした産業の支援

- ・琵琶湖をはじめ各学区に点在する様々な地域資源を活かし、政策としての健幸都市づくりの推進や生活・観光等に係る社会的ニーズに対応した新たな魅力づくりを推進します。
- ・琵琶湖や琵琶湖にまつわる様々な資源のほか、農業、水産業、歴史・文化・体験等の観光資源などの様々な地域資源の関連性や事業者ヒアリングの結果等を考慮し、実現性の高い地域振興策を検討します。

#### 地域資源を活かした産業の支援のイメージ（例えば、「あおばな茶」の場合）

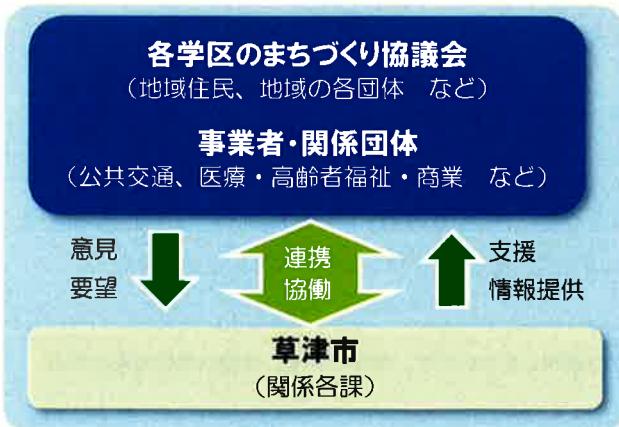


## 8. 事業化に向けた検討体制

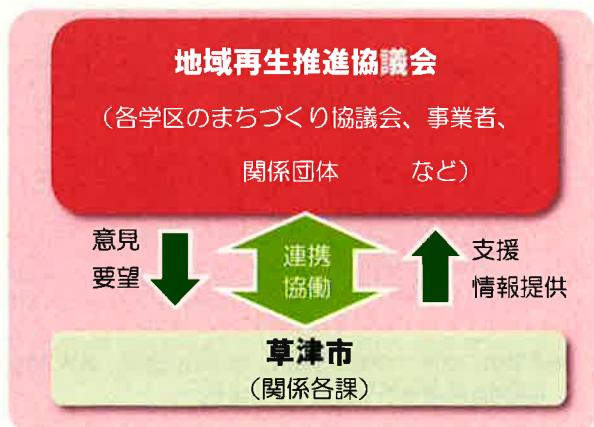
▶▶▶ 本編 p.57

本計画は、地域再生のためのまちづくりの基本方針を示すものであり、その実現に向けては、以下のような体制のもとに、地域や事業者、関係団体、行政等がそれぞれの役割を果たし連携する中で取り組みを検討していくものとします。各学区での検討体制として、地域住民や各団体、関係事業者との連携・協働により地域再生の推進を図ります。また、全体での検討体制として、各学区のまちづくり協議会や事業者、関係団体等で構成された地域再生推進協議会を組織し、各学区における検討状況の情報共有等を図り、より一層の地域再生の推進を図ります。

#### ＜各学区での検討体制＞



#### ＜全体での検討体制＞



# 9. 各学区のまちづくりの方向性と将来ビジョン

## <常盤学区>

本編 p.36~56

### ①まちづくりの方向性

#### ①-1.生活拠点の形成と交通環境の充実

- 今後の高齢化の進展や日常生活サービス機能が不十分な現状を踏まえ、より身近なところで様々な生活サービスが享受できる生活拠点の形成を目指します。
- 多様な交通手段によるアクセス利便性を高める交通拠点の形成や公共交通の充実を目指します。

#### ①-2.地域資源を活かした産業の支援

- 琵琶湖を背景とした様々な地域資源の関連性や社会的ニーズ等を考慮し、実現性の高い地域振興策を検討します。

地域の現状・課題に係る評価		現状課題に関する施策の柱と方向性
高齢化率	△	
医療	△	→ 1 生活拠点の形成 重点取組み
高齢者福祉	△	
商業	×	
基幹的公共交通	△	→ 2 交通環境の充実 重点取組み
地域資源の活用の可能性	大	→ 3 地域資源を活かした産業の支援 重点取組み

※ 【高齢化率】 「○」市街化調整区域の平均値より低い項目、「△」市街化調整区域の平均値より高い項目  
【医療・高齢者福祉・商業・基幹的公共交通】「○」徒歩圏人口カバー率の平均値を上回る項目（平均値と同じ場合を含む）、「△」徒歩圏人口カバー率の平均値を下回る項目、「×」徒歩圏人口カバー率が「0%」の項目  
【地域資源の活用の可能性】「大」 豊富に存在し、活用の可能性が高い。「有」存在するが、活用には検討が必要。

### ②将来ビジョン

#### ②-1.生活拠点の形成

- 浜街道沿線に位置する一団の低未利用地を活用した生活拠点の形成
- 生活拠点内への医療、高齢者福祉、商業施設等の誘致やアクセスの確保

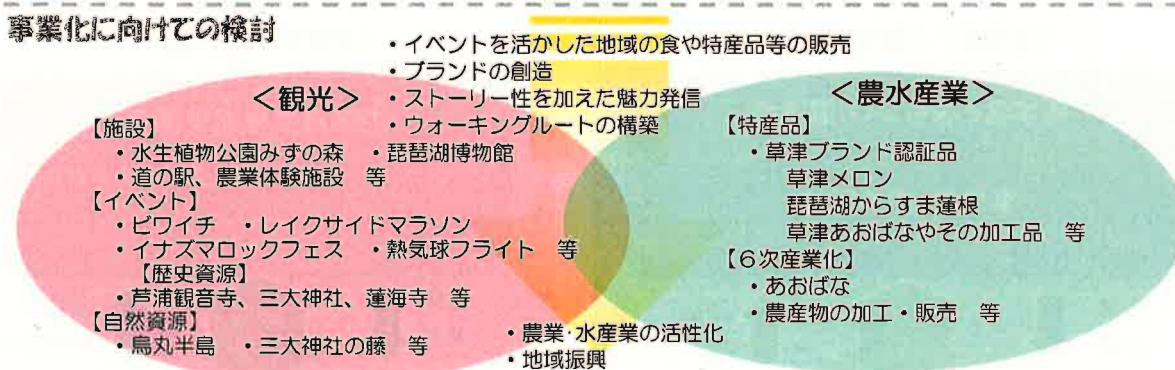
#### ②-2.交通環境の充実

- バス、自転車等でのアクセス利便性を高める交通拠点の形成
- 生活者のニーズに応じた基幹的・補完公共交通の充実（路線の再編等）
- 歩行者の安全性向上

#### ②-3.地域資源を活かした産業の支援

- 地域資源（観光、農業）を組み合わせて地域活力向上を推進します。

#### 事業化に向けての検討



※事業化に向けての検討内容は、将来的に普及、拡大されることを期待したものです。地域の中で、今後議論の対象となる可能性のあるものを記載しています。

## <笠縫東学区>

### ①まちづくりの方向性

#### ①-1.生活拠点の形成と交通環境の充実

- 公共交通の充実や自転車が利用しやすい環境整備等を行うことで、更なる生活利便性の向上を目指します。

#### ①-2.地域資源を活かした産業の支援

- 健康づくりへの関心の高まり等の社会的ニーズや地域資源の関連性を考慮し、実現性の高い地域振興策を検討します。

地域の現状・課題に係る評価	→	現状課題に関連する施策の柱と方向性
高齢化率 ○		1 生活拠点の形成
医療 ○		
高齢者福祉 ○		
商業 ○		
基幹的公共交通 ×	→	2 交通環境の充実
地域資源の活用の可能性 有	→	3 地域資源を活かした産業の支援

※ 【高齢化率】 「○」市街化調整区域の平均値より低い項目、「△」市街化調整区域の平均値より高い項目  
【医療・高齢者福祉・商業・基幹的公共交通】「○」徒歩圏人口カバー率の平均値を上回る項目（平均値と同じ場合を含む）、「△」徒歩圏人口カバー率の平均値を下回る項目、「×」徒歩圏人口カバー率が「0%」の項目  
【地域資源の活用の可能性】「大」豊富に存在し、活用の可能性が高い。「有」存在するが、活用には検討が必要。

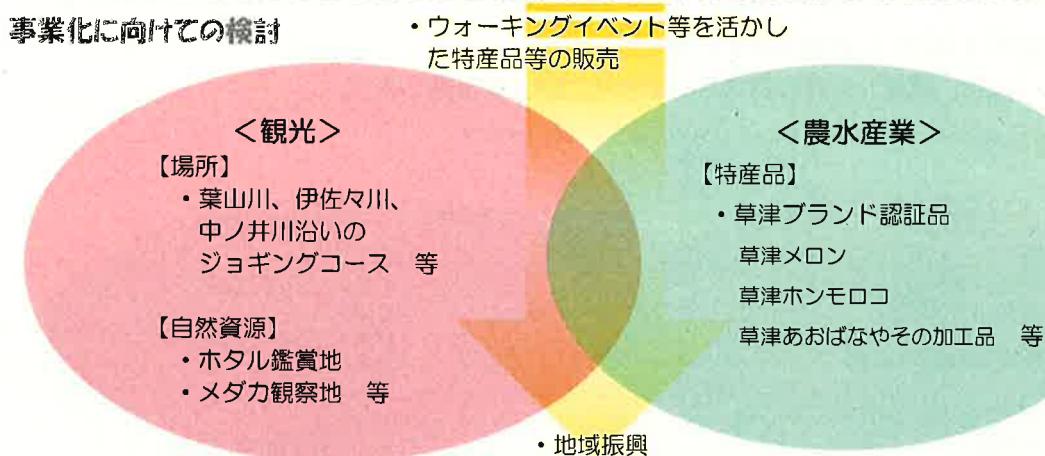
### ②将来ビジョン

#### ②-1. 交通環境の充実

- 生活者のニーズに応じた基幹的・補完公共交通の充実（路線の再編等）
- 歩行者・自転車交通の安全性向上や利用促進

#### ②-2. 地域資源を活かした産業の支援

- 地域資源（観光、農業）を組み合わせて地域活力向上を推進します。



※事業化に向けての検討内容は、将来的に普及、拡大されることを期待したものです。地域の中で、今後議論の対象となる可能性のあるものを記載しています。

## <笠縫学区>

### ①まちづくりの方向性

#### ①-1.生活拠点の形成と交通環境の充実

- ・公共交通の充実や自転車が利用しやすい環境整備等を行うことで、生活利便性の向上を目指します。

#### ①-2.地域資源を活かした産業の支援

- ・「あおばな」等の農業関連資源の付加価値や社会的ニーズを考慮し、「あおばな館」を拠点とした実現性の高い地域振興策を検討します。

#### 地域の現状・課題に係る評価

高齢化率	△
医療	○
高齢者福祉	△
商業	×
基幹的公共交通	○
地域資源の活用の可能性	大

#### 現状課題に関する施策の柱と方向性

1 生活拠点の形成	重点取組み
2 交通環境の充実	要検討
3 地域資源を活かした産業の支援	重点取組み

※ 【高齢化率】 「○」市街化調整区域の平均値より低い項目、「△」市街化調整区域の平均値より高い項目  
【医療・高齢者福祉・商業・基幹的公共交通】「○」徒歩圏人口カバー率の平均値を上回る項目（平均値と同じ場合を含む）、「△」徒歩圏人口カバー率の平均値を下回る項目、「×」徒歩圏人口カバー率が「0%」の項目  
【地域資源の活用の可能性】「大」豊富に存在し、活用の可能性が高い。「有」存在するが、活用には検討が必要。

### ②将来ビジョン

#### ②-1.生活拠点の形成

- ・浜街道沿線に位置する一団の低未利用地を活用した生活拠点の形成
- ・生活拠点内への商業、高齢者福祉施設等の誘致やアクセスの確保

#### ②-2.交通環境の充実

- ・基幹的公共交通と自転車等の乗り継ぎ利便性を高める交通拠点の形成
- ・生活者のニーズに応じた基幹的公共交通の充実（路線の再編等）
- ・歩行者・自転車交通の安全性向上

#### ②-3.地域資源を活かした産業の支援

- ・地域資源（観光、農業）を組み合わせて地域活力向上を推進します。

#### 事業化に向けての検討

##### <観光>

- 【場所】
  - ・あおばな館
  - ・草津川跡地公園
  - ・ai 彩ひろば
  - ・農業体験施設 等
- 【景観】
  - ・景観資源としてのあおばな 等
- 【歴史資源】
  - ・老杉神社
  - ・上笠天満宮 等

- ・ai 彩ひろばを活かしたマルシェの開催
- ・特産品等の販売
- ・ブランドの創造
- ・歴史資源にストーリー性を加えた魅力発信
- ・ウォーキングルートの構築

##### <農水産業>

- 【特産品】
  - ・草津ブランド認証品
  - ・草津メロン
  - ・琵琶湖からすま蓮根
  - ・草津ホンモロコ
  - ・草津あおばなと関連商品 等
- 【6次産業化】
  - ・あおばな等の健康食品の加工・販売 等

・農業・水産業の活性化  
・地域振興

※事業化に向けての検討内容は、将来的に普及、拡大されることを期待したもので、地域の中で、今後議論の対象となる可能性のあるものを記載しています。

## <山田学区>

### ①まちづくりの方向性

#### ①-1.生活拠点の形成と交通環境の充実

- 今後の高齢化の進展や日常生活サービス機能が不十分な現状を踏まえ、より身近なところで様々な生活サービスが享受できる生活拠点の形成を目指します。
- 多様な交通手段によるアクセス利便性を高める交通拠点の形成や公共交通の充実を目指します。

#### ①-2.地域資源を活かした産業の支援

- 「SOFIX 野菜」等の農業関連資源の付加価値や社会的ニーズを考慮し、実現性の高い地域振興策を検討します。※「SOFIX 野菜」とは、立命館大学で開発された「SOFIX（土壌肥沃度指標）」による土壤診断に基づき、良質な有機物で最適な環境に整えられた土壌で栽培された野菜のことです。

地域の現状・課題に係る評価	→	現状課題に関する施策の柱と方向性	重点取組み
高齢化率	△	1 生活拠点の形成	
医療	△	2 交通環境の充実	
高齢者福祉	○		
商業	△		
基幹的公共交通	△	3 地域資源を活かした産業の支援	
地域資源の活用の可能性	大		

※【高齢化率】 「○」市街化調整区域の平均値より低い項目、「△」市街化調整区域の平均値より高い項目  
【医療・高齢者福祉・商業・基幹的公共交通】「○」歩行圏人口カバー率の平均値を上回る項目（平均値と同じ場合を含む）、「△」歩行圏人口カバー率の平均値を下回る項目、「×」歩行圏人口カバー率が「0%」の項目  
【地域資源の活用の可能性】「大」豊富に存在し、活用の可能性が高い。「有」存在するが、活用には検討が必要。

### ②将来ビジョン

#### ②-1.生活拠点の形成

- 学区の中心に位置する区域に生活拠点を形成
- 生活拠点内への医療、商業施設等の誘致やアクセスの確保

#### ②-2.交通環境の充実

- バス、自転車等でのアクセス利便性を高める交通拠点の形成
- 生活者のニーズに応じた基幹的・補完公共交通の充実（路線の再編等）
- 歩行者の安全性向上

#### ②-3.地域資源を活かした産業の支援

- 地域資源（観光、農業）を組み合わせて地域活力向上を推進します。

##### 事業化に向けての検討

- バイオガスプラントによる環境配慮型、資源循環型の農業の推進
- ブランドの創造
- 高付加価値野菜を使ったフードツーリズム

##### <農水産業>

- 【SOFIX】
  - ・高付加価値野菜
  - ・生産性向上
- 【バイオガスプラント】
  - ・高品質液肥を生成
  - ・バイオガスをハウス栽培の熱源として利用
- 【ハウス園地】
  - ・愛彩菜、ねぎ、こまつな、ほうれん草等の軟弱野菜
  - ・草津メロン栽培 等

##### <観光>

##### 【場所】

- ・草津川跡地公園
- ・ai 彩ひろば 等

- ・農業・水産業の活性化
- ・地域振興

※事業化に向けての検討内容は、将来的に普及、拡大されることを期待したもので、地域の中で、今後議論の対象となる可能性のあるものを記載しています。

## <者上西学区>

### ①まちづくりの方向性

#### ①-1.生活拠点の形成と交通環境の充実

- 既存の生活拠点を中心とした50戸連たん制度の厳守等により市街地の拡散を抑制することで、利便性の高い生活環境を維持していくものとします。

#### ①-2.地域資源を活かした産業の支援

- 歴史資源や体験工房等の地域資源の関連性や社会的ニーズ等を考慮し、実現性の高い地域振興策を検討します。

地域の現状・課題に係る評価	→	現状課題に関する施策の柱と方向性
高齢化率 △		
医療 ○	→	1 生活拠点の形成
高齢者福祉 ○		
商業 ○		
基幹的公共交通 ○	→	2 交通環境の充実 要検討
地域資源の活用の可能性 大	→	3 地域資源を活かした産業の支援 重点取組み

※ 【高齢化率】 「○」市街化調整区域の平均値より低い項目、「△」市街化調整区域の平均値より高い項目  
【医療・高齢者福祉・商業・基幹的公共交通】「○」歩行圏人口カバー率の平均値を上回る項目（平均値と同じ場合を含む）、「△」歩行圏人口カバー率の平均値を下回る項目、「×」歩行圏人口カバー率が「0%」の項目  
【地域資源の活用の可能性】「大」豊富に存在し、活用の可能性が高い。「有」存在するが、活用には検討が必要。

### ②将来ビジョン

#### ②-1.生活拠点の形成

- 者上西小学校や者上西まちづくりセンター周辺の生活拠点としての機能向上

#### ②-2.交通環境の充実

- 歩行者・自転車交通の安全性向上

#### ②-3.地域資源を活かした産業の支援

- 地域資源（観光、農業）を組み合わせて地域活力向上を推進します。

- 事業化に向けての検討
- イベントを活かした地域の食、特産品の販売
  - 公園でのオリエンテーリングや釣り大会、ヨガ、ウォーキング等
  - 健康イベントと健康に関する講習会をセットにしたヘルツーリズム
  - 歴史資源にストーリー性を加えた魅力発信



※事業化に向けての検討内容は、将来的に普及、拡大されることを期待したもので、地域の中で、今後議論の対象となる可能性のあるものを記載しています。

## <老上学区>

### ①まちづくりの方向性

#### ①-1.生活拠点の形成と交通環境の充実

- ・公共交通の充実や自転車が利用しやすい環境整備等を行うことで、更なる生活利便性の向上を目指します。

#### ①-2.地域資源を活かした産業の支援

- ・古墳群等の歴史資源等の関連性や社会的ニーズ等を考慮し、実現性の高い地域振興策を検討します。

地域の現状・課題に係る評価	→	現状課題に関する施策の柱と方向性	
高齢化率 ○			
医療 △	→	1 生活拠点の形成	
高齢者福祉 ○			
商業 ○			
基幹的公共交通 △	→	2 交通環境の充実	重点取組み
地域資源の活用の可能性 有	→	3 地域資源を活かした産業の支援	要検討

※ 【高齢化率】 「○」市街化調整区域の平均値より低い項目、「△」市街化調整区域の平均値より高い項目  
【医療・高齢者福祉・商業・基幹的公共交通】「○」徒歩圏人口カバー率の平均値を上回る項目(平均値と同じ場合を含む)、「△」徒歩圏人口カバー率の平均値を下回る項目、「×」徒歩圏人口カバー率が「0%」の項目  
【地域資源の活用の可能性】「大」豊富に存在し、活用の可能性が高い。「有」存在するが、活用には検討が必要。

### ②将来ビジョン

#### ②-1.交通環境の充実

- ・生活者のニーズに応じた基幹的・補完公共交通の充実(路線の配置)
- ・歩行者・自転車交通の安全性向上

#### ②-2.地域資源を活かした産業の支援

- ・地域資源(観光、農業)を組み合わせて地域活力向上を推進します。

##### 事業化に向けての検討

- ・歴史資源をめぐるコースを活かした特産品等の販売
- ・歴史資源にストーリー性を加えた魅力発信



※事業化に向けての検討内容は、将来的に普及、拡大されることを期待したもので、地域の中で、今後議論の対象となる可能性のあるものを記載しています。

## <志津学区>

### ①まちづくりの方向性

#### ①-1.生活拠点の形成と交通環境の充実

- ・公共交通の充実等を図ることで、更なる生活利便性の向上を目指します。

#### ①-2.地域資源を活かした産業の支援

- ・歴史資源や体験工房、ホンモロコの養殖やあおばな栽培地、クリーンセンターの余熱利用など、地域資源の関連性や社会的ニーズ等を考慮し、実現性の高い地域振興策を検討します。

地域の現状・課題に係る評価	現状課題に関する施策の柱と方向性		
高齢化率	○		
医療	○	→ 1 生活拠点の形成	
高齢者福祉	○		
商業	△		
基幹的公共交通	○	→ 2 交通環境の充実	要検討
地域資源の活用の可能性	大	→ 3 地域資源を活かした産業の支援	重点取組み

※ 【高齢化率】 「○」市街化調整区域の平均値より低い項目、「△」市街化調整区域の平均値より高い項目  
【医療・高齢者福祉・商業・基幹的公共交通】「○」徒歩圏人口カバー率の平均値を上回る項目（平均値と同じ場合を含む）、「△」徒歩圏人口カバー率の平均値を下回る項目、「×」徒歩圏人口カバー率が「0%」の項目  
【地域資源の活用の可能性】「大」豊富に存在し、活用の可能性が高い。「有」存在するが、活用には検討が必要。

### ②将来ビジョン

#### ②-1.交通環境の充実

- ・基幹的公共交通と自転車等の乗り継ぎ利便性を高める交通拠点の形成
- ・生活者のニーズに応じた補完公共交通の充実（路線の配置）

#### ②-2.地域資源を活かした産業の支援

- ・地域資源（観光、農業）を組み合わせて地域活力向上を推進します。

##### 事業化に向けての検討

- ・ウォーキングイベント等を活かした特産品等の販売
- ・歴史資源にストーリー性を加えた魅力発信



※事業化に向けての検討内容は、将来的に普及、拡大されることを期待したもので、地域の中で、今後議論の対象となる可能性のあるものを記載しています。

## 10. 目標値の設定

本編 p.64~65

本計画の全体目標値、および計画の基本方針に示した3つの施策の柱に対応した目標値を以下のとおり設定します。

全体目標値		
指 標	従前値 (2017(平成 29)年)	目標値 (2040 年)
“総合的に住みやすいまちである”と思う対象区域内に居住する市民の割合 【市民意識調査】	73%	94%
施策の柱1 生活拠点の形成		
指 標	従前値 (2010(平成 22)年)	目標値 (2040 年)
日常生活サービス施設（医療施設・高齢者福祉施設・商業施設）の徒歩圏人口カバー率	22%	49%
施策の柱2 交通環境の充実		
指 標	従前値 (2017(平成 29)年)	目標値 (2040 年)
“公共交通機関の便がよい”と思う対象区域内に居住する市民の割合 【市民意識調査】	33%	53%
施策の柱3 地域資源を活かした産業の支援		
指 標	従前値 (2017(平成 29)年)	目標値 (2040 年)
“まちに誇れるもの（ブランド）がある”と思う市民の割合 【市民意識調査】※市全体	21%	57%

## 11. 計画の評価

本編 p.66

本計画は、2040 年度までを計画期間とする長期的な計画であるため、計画期間中は概ね5年を目安に、社会経済情勢の変化や本計画に基づく取り組みの進捗状況、先に示した目標値の達成状況などについて、調査・分析及び評価を行い、必要に応じて計画内容の見直しを行うといったP D C Aサイクルによる進行管理を行います。



草津市の未来のために

## 草津市版地域再生計画 概要版

(策定日：2018年〇〇月〇〇日、公表日：2018年〇〇月〇〇日)

◎本計画に対するご意見・ご質問等は、草津市都市計画部都市計画課までご連絡ください。

【連絡先】住所：〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号

TEL：077-561-2375 FAX：077-561-2486 / E-mail：tokei@city.kusatsu.lg.jp

◎本書は概要版です。計画の全体版は草津市ホームページをご覧ください。



議 第5号

草津栗東くるっとバス大宝循環線の守山市延伸について

草津栗東くるっとバス大宝循環線の守山市延伸について、草津市地域公共交通活性化再生協議会規約第18条第5号の規定に基づき、承認を求める。

○ 上記の議案を提出する。

平成30年5月30日

草津市地域公共交通活性化再生協議会

## 1. 大宝循環線ルート(現行)



## 2. 大宝循環線延伸ルート(案)



# 大宝循環線延伸案(草津駅西口発)

キロ程 … km

所要時分 … 分

単位

現行		延伸案(バス停追加案)	
	所要時分	キロ程	所要時分
草津駅西口			
エストピアホテル前	0:01	0.3	
西大路	0:01	0.2	0:01
野村一丁目	0:00	0.2	0:00
草津年金事務所	0:01	0.3	0:01
平井会館	0:01	0.3	0:01
新平井橋	0:00	0.3	0:00
スタレ西児童遊園	0:03	0.4	0:03
小平井団地	0:01	0.3	0:01
小平井	0:01	0.3	0:01
小平井一区	0:01	0.3	0:01
マックスバリュ駒井沢	0:02	0.8	0:02
富田クリニック	0:01	0.4	0:01
草津ハートセンター	0:00	0.3	0:00
ひだまりの家	0:04	0.7	0:04
十里口	0:01	0.5	0:01
靈仙寺住宅	0:01	0.2	0:01
ミニティーセンターハ宝西	0:00	0.2	0:00
小平井口	0:01	0.4	0:01
靈仙寺	0:01	0.4	0:01
新靈仙寺橋	0:01	0.3	0:01
大宝郵便局西	0:00	0.2	0:00
大宝郵便局前	0:01	0.2	0:01
栗東駅西口	0:02	0.4	0:02
古高工業団地	0:05	2.0	0:02
二町(仮名)	0:02	0.5	0:02
古高工業団地	0:03	1.2	0:01
守山南中学校	0:02	0.6	0:02
市立図書館	0:03	0.7	0:03
成人病センター	0:02	0.7	成人病センター
守山市役所	0:10	1.5	0:02
守山駅西口	0:10	0.7	0:03
計	0:35	10.2	計
			計
			0:50
			14.6

現行		延伸案(バス停追加なし案)	
	所要時分	キロ程	所要時分
草津駅西口			
エストピアホテル前	0:01	0.3	0:01
西大路	0:01	0.2	0:01
野村一丁目	0:00	0.2	0:00
草津年金事務所	0:01	0.3	0:01
平井会館	0:01	0.3	0:01
新平井橋	0:00	0.3	0:00
スタレ西児童遊園	0:03	0.4	0:03
小平井団地	0:01	0.3	小平井団地
小平井	0:01	0.3	小平井
小平井一区	0:01	0.3	小平井一区
マックスバリュ駒井沢	0:02	0.8	マックスバリュ駒井沢
富田クリニック	0:01	0.4	富田クリニック
草津ハートセンター	0:00	0.3	草津ハートセンター
ひだまりの家	0:04	0.7	ひだまりの家
十里口	0:01	0.5	十里口
靈仙寺住宅	0:01	0.2	靈仙寺住宅
ミニティーセンターハ宝西	0:00	0.2	ミニティーセンターハ宝西
小平井口	0:01	0.4	靈仙寺
靈仙寺	0:01	0.4	新靈仙寺橋
大宝郵便局西	0:00	0.2	大宝郵便局西
大宝郵便局前	0:01	0.2	大宝郵便局前
栗東駅西口	0:02	0.4	栗東駅西口
古高工業団地	0:05	2.0	古高工業団地
二町(仮名)	0:02	0.5	二町(仮名)
古高工業団地	0:03	1.2	古高工業団地
守山南中学校	0:02	0.6	守山南中学校
市立図書館	0:03	0.7	市立図書館
成人病センター	0:02	0.7	成人病センター
守山市役所	0:10	1.5	守山市役所
守山駅西口	0:10	1.5	守山駅西口
計	0:35	10.2	計
			計
			0:50
			14.6

# 大宝循環線延伸案(守山駅西口発)

キロ程 … km  
所要時分 … 分

単位

	現行	キロ程	所要時分	キロ程
栗東駅東口				
ウイングプラザ前	0:01	0.3		
縁三丁目	0:01	0.4	0:07	1.5
刈原東	0:00	0.2	0:03	0.7
刈原	0:02	0.2	0:02	0.6
南橋	0:02	0.8	0:03	1.2
栗東駅西口	0:04	0.4	0:02	0.5
大宝郵便局前	0:01	0.4	0:05	2.0
大宝郵便局西	0:00	0.2	0:01	0.4
新靈仙寺橋	0:01	0.2	0:00	0.2
靈仙寺	0:01	0.3	0:01	0.3
小平井口	0:01	0.4	0:01	0.4
ミニユーティーセンターハートセントラル	0:01	0.4	0:01	0.4
靈仙寺住宅	0:01	0.2	0:01	0.2
十里口	0:00	0.2	0:00	0.2
ひだまりの家	0:02	0.5	0:02	0.5
草津ハートセンター	0:02	0.7	0:02	0.7
富田クリニック	0:00	0.3	0:00	0.3
マックスバリュ駒井沢	0:02	0.4	0:02	0.4
小平井一区	0:02	0.8	0:02	0.8
小平井	0:01	0.3	0:01	0.3
小平井団地	0:00	0.3	0:00	0.3
スダレ西児童遊園	0:02	0.3	0:02	0.3
新平井橋	0:01	0.4	0:01	0.4
平井会館	0:01	0.3	0:01	0.3
草津年金事務所	0:01	0.3	0:01	0.3
野村一丁目	0:01	0.3	0:01	0.3
西大路	0:01	0.2	0:01	0.2
エストピアホテル前	0:01	0.2	0:01	0.2
草津駅西口	0:04	0.3	0:05	0.3
計	0:37	10.2	0:50	14.4

	延伸案(バス停追加なし案)	キロ程	所要時分	キロ程
守山駅西口				
守山市役所			0:07	1.5
成人病センター			0:03	0.7
市立図書館			0:02	0.6
守山南中学校			0:03	1.2
古高工業団地			0:02	0.5
二町(仮名)			0:01	0.8
北中小路(仮名)			0:02	0.6
栗東駅西口			0:02	0.6
大宝郵便局前			0:02	0.6
大宝郵便局西			0:01	0.4
新靈仙寺橋			0:01	0.4
靈仙寺			0:00	0.2
新靈仙寺橋			0:01	0.2
靈仙寺			0:00	0.2
小平井口			0:01	0.2
ミニユーティーセンターハートセントラル			0:01	0.2
靈仙寺住宅			0:01	0.3
十里口			0:00	0.2
ひだまりの家			0:01	0.4
草津ハートセンター			0:01	0.4
富田クリニック			0:01	0.5
マックスバリュ駒井沢			0:01	0.5
小平井一区			0:00	0.3
小平井			0:01	0.3
小平井団地			0:00	0.3
スダレ西児童遊園			0:02	0.3
新平井橋			0:01	0.4
平井会館			0:01	0.3
草津年金事務所			0:01	0.3
野村一丁目			0:01	0.3
西大路			0:01	0.2
エストピアホテル前			0:01	0.2
草津駅西口			0:01	0.2
計	0:37	10.2	0:50	14.4

	延伸案(バス停追加案)	キロ程	所要時分	キロ程
守山駅西口				
守山市役所			0:07	1.5
成人病センター			0:03	0.7
市立図書館			0:02	0.6
守山南中学校			0:03	1.2
古高工業団地			0:02	0.5
二町(仮名)			0:01	0.8
北中小路(仮名)			0:02	0.6
栗東駅西口			0:02	0.6
大宝郵便局前			0:02	0.6
大宝郵便局西			0:01	0.4
新靈仙寺橋			0:01	0.4
靈仙寺			0:00	0.2
新靈仙寺橋			0:01	0.2
靈仙寺			0:00	0.2
小平井口			0:01	0.2
ミニユーティーセンターハートセントラル			0:01	0.3
靈仙寺			0:01	0.6
五丁目(仮名)			0:01	0.6
コミュニティーセンター大宝西			0:01	0.4
靈仙寺住宅			0:01	0.2
十里口			0:00	0.2
ひだまりの家			0:01	0.4
草津ハートセンター			0:01	0.4
富田クリニック			0:01	0.5
マックスバリュ駒井沢			0:01	0.5
小平井一区			0:00	0.3
小平井			0:01	0.3
小平井団地			0:00	0.3
スダレ西児童遊園			0:02	0.3
新平井橋			0:01	0.4
平井会館			0:01	0.3
草津年金事務所			0:01	0.3
野村一丁目			0:01	0.3
西大路			0:01	0.2
エストピアホテル前			0:01	0.2
草津駅西口			0:01	0.2
計	0:37	10.2	0:50	14.6